

鹿児島県医師連盟 FAXニュース

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL: 099 - 213 - 1011 FAX: 099 - 213 - 1012

池田委員長、三反園知事の後援会長に就任 社会保障政策などを評価

鹿児島県医師連盟(会員約700人)の池田琢哉委員長＝鹿児島県医師会長＝は、4月6日、県医師会館で記者会見を開き、今月5日付で三反園訓知事の後援会長に就任したことを、明らかにした。

池田委員長は、会見のなかで、後援会長就任の理由について「三反園知事が初めて編成した当初予算のなかで、子育て支援に300億円をつけ、高齢者向けにもしっかり付けられていた。社会保障制度を守り抜く立場から、医師連盟として現知事をしっかり応援して行こうと思ひ、引き受けた」と述べた。

記者会見では、伊藤祐一郎前知事の後援会長をつとめた池田委員長が、なぜ選挙で争った三反園現知事の後援会長に就任するのか、について質問があり、池田委員長は「悩みに悩んで結論を出した。三反園知事に数回会って、彼のものの考え方に共感したこともあり、最終的には、医師連盟役員の方々の意見も聞いて決断した」と述べた。

また、三反園知事が政策として掲げている子どもの医療費無料化についての質問には、「医療の無料化は親の負担を軽減することになるが、心配しているのは夜の受診でどうしても医師が足りないことだ。小児科は特に少ない。24時間診てとなると、医療

側も疲弊してしまう。そのあたりを住民の皆様にも理解を求めながら、どうあるべきかを考えたい」と述べた。

池田委員長によると、三反園知事本人から昨年末後援会長就任の要請があり、その後2月に開いた医師連盟執行委員会で、郡市医師連盟の委員長17人から意見を聴取し、全ての委員長の賛同を得て、後援会長就任を決めた、という。

池田委員長は今後について「県とタッグを組んで、社会保障を守り、充実させて行きたい。地域医療構想に関しても、調整会議のなかで地域の県民にとっていい医療体制をつくるために、県と協議していく」と語った。

県医師連盟には、開業医の約6割が加盟している。連盟の委員長は、歴代知事の後援会長を務めており、池田委員長は、2012年2月伊藤前知事の後援会長に就任した。

(文責・事務局)